

カリキュラム区分		4カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門基礎科目	140	1年	前期	臨床検査学科	必修	医療概論（共通） Introduction to Medical Care	15	1
担当教員								
中西 純子	安川 正貴	尾上 智子		遠藤 弥重太*				
関連するDPキーワード（看護学科）								
	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
○	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
○	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
○	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
○	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
○	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
医療の全体像を大まかに捉え、多角的な視点から医療や健康について考えられることを目指す。								
到達目標（授業目標）								
①医療の歴史の変遷について説明することができる。								
②医療従事者の倫理について述べるすることができる。								
③日本の現代社会における保健医療制度の仕組みを説明できる。								
④様々な医療分野があることを知り、興味をもった分野についてさらに調べ、知識と理解を深めることができる。								
⑤文化によって医療や健康・病気についての考え方が異なること、多様性を尊重することが理解できる。								
⑥生命科学の本質と医療の関係について意見を述べるすることができる。								
回	授業計画（項目・内容与方法・担当者）							
1回	健康とは何か、様々な視点（定義、政策の変遷、加齢、心と身体、障がい等）から資料を提示し、多様な視点で考えられるよう講義する。（中西）							
2回	日本の保健医療の提供システムについて、医療保険制度の現状と課題、医療と経済の問題、国の医療計画（5疾病5事業、在宅医療施策）について講義し、学生の出身地の医療計画について調べてみるようつなげる。（中西）							
3回	人間の身体、健康や病気の考え方、治療の方法などが、それぞれの生きる環境や文化によって多様であることをフィリピンの山岳少数民族の事例から紹介する。（尾上）							
4回	災害医療、在宅医療、移植医療等様々な医療分野について概観できるよう現状と課題を講義する。（中西）							
5回	医療技術発達の基礎となる生命科学研究についてそこから見えてくるものについて講義する。（遠藤）							
6回	有史以来、現在までの医療を概括する。医療技術の進歩だけでなく医療に対するそれぞれの時代の考え方、社会のニーズにも言及する。（安川）							

7回	科学の本質と医療の関係を考察し、疑似科学の紛れ込みを見抜く重要性及び医学における研究について、体験を交えてその重要性を解説する。(安川)								
8回	看護職及び臨床検査技師等の医療従事者に求められる倫理性について述べ、医療にかかわる生き方を考える。(安川)								
9回									
10回									
11回									
12回									
13回									
14回									
15回									
16回									
17回									
18回									
19回									
20回									
21回									
22回									
23回									
24回									
25回									
26回									
27回									
28回									
29回									
30回									
成績評価方法及び基準									
中西と安川がそれぞれの講義終了後にレポート課題(各50点)を出し、合計60点以上を合格とする。									
教科書	千代豪昭「学生のための医療概論」第4版(医学書院)								
参考図書等									
授業時間外の学習について(授業準備のための指示)									
事前学習(30分)として、各回で取り上げる内容に該当する教科書のページを読んでおくとともに、事後学習(60分)として、日本及び世界の視点から学習した事について、自分の居住地や出身地ではどうかを検索する。									
関連科目									
前科目	128	生命科学							
後科目	166	社会保障制度論(共通)	保健医療福祉行政論(共通)	165	医療と経済(共通)	143	チーム医療(共通)	112	文化人類学
実務家教員									
看護師(医療機関)	中西 純子								
医師(医療機関)	安川 正貴								
備考									